視線入力オプション取扱説明書

株式会社 日立ケーイーシステムズ

視線入力オプションを使用する場合は、トビーPCEye Miniの「ユーザーマニュアル」の「1.はじめに」、「2.セ ーフティ」を守っていただき、正しくご使用ください。

また「伝の心」の操作に関しては「伝の心取扱説明書-簡易版-」や電子マニュアル「「伝の心」取扱説明 書」もご参照ください。

重要なお知らせ

■ 保証について

「伝の心」の無償保証期間は、本システム装置に同梱されている保証書に記載されている期間とします。 オプションに関してはオプション品に同梱されている保証書に記載されている期間とします。 故障が発生した場合は、販売会社へご連絡ください。 なお、つぎに該当する場合は、保証の範囲から除外させていただきます。

- ●お客様の不適切な取扱い、使用による場合。
- ●故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- ●納入者以外の改造または修理による場合。
- ●その他、天災、災害など納入者の責にあらざる場合。

ここで言う保証は納入品単体を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。また、 保証は日本国内おいてのみ有効です。(Effective only Japan)

📕 お断り

- ●本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用する事を禁止します。
- ●本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ●本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報 くださいますようお願いいたします。
- ●本製品(オプション品)を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承 ください。
- ●本製品(オプション品)は日本国内のみに使用してください。(For Japanese Domestic Use Only)

■ 商標と技術について

- ●「伝の心」は株式会社 日立ケーイーシステムズの登録商標です。
- ●トビーPCEye Mini は株式会社クレアクトの登録商標です。
- ●Microsoft、Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。
- ●その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■動作環境

対象機器	トビーPCEye Mini
対応アプリケーション	伝の心 Ver.06-31 以降
OS	Windows 10
USB	2.0 以上

📕 制限事項

「伝の心」や tobii アイトラッキングツールから起動するキャリブレーション画面、またはキャリブレーション 画面より実行するキャリブレーションは、CPU 負荷が非常に高くなるため、OS の状態によっては視線 制御ソフトが停止してしまうことがあります。視線制御ソフトが停止した場合は、71 ページの「キャリブ レーションを行ったら、動作不能になった」を参照ください

Copyright © Hitachi KE Systems ,Ltd. 2018-2021 All rights reserved.

~~
<i>i</i> K

■はじめに2
■動作環境2
視線入力オプションのセットアップ 5
■はじめて使う時の準備6
伝の心を停止します
コアソフトウェアのインストール6
トビーPCEye Mini の設置を行います9
トビーPCEye Mini と使用者の位置を調整します12
トビーPCEye Mini の設定を行います(ユーザープロフィールの作成)15
伝の心で使用できるようにします20
■起動と終了
視線入力有効時の「伝の心」の起動 23
視線入力有効時の「伝の心」の終了 26
■tobii アイトラッキングツールについて
tobii アイトラッキングツールの起動と終了 27
インタラクション(OS の設定)
ディスプレイ設定
ユーザープロフィール設定(キャリブレーション) 30
視線入力オプションを使う(基本編)
■マウスカーソルとクリック(決定)動作34
視線で動かすカーソル移動 34
クリック(決定)するには 34
■視線入力の一時停止・再開
伝の心のガイダンス行の注視で一時停止・再開が可能です
ガイダンス行が無い Windows 操作では[ON/OFF]ボタンがあります
■視線入力が上手く行かないときは 37
視線がずれていると感じた時にはキャリブレーション
マウスカーソルの動きがぎこちない・動きすぎると感じた時には
マウスクリックまでの時間が早すぎる・遅すぎると感じた時には
■通常版「伝の心」との違い
電源 ON 時の起動画面について 44
操作が連続して行われる機能の制限について
メニューの読上げやスキャン音について
文字盤の拡大表示について

視線入力切替設定の追加	45
読上げ画面の操作	46
定型句入力画面の操作	46
日時入力画面の操作	46
文書印刷画面の操作	47
支援者用設定画面について	47
応用操作(Windows 操作・ブラウザ操作)について	48
応用操作(視線入力有効時に表示されるメニュー)について	48
応用操作(メール/LINE)について	49
∎Windows 操作(視線入力有効時)	50
メニュー一覧	50
マウスクリックの切り替え(左クリック・右クリックなど)	51
マウスのスクロール	52
ドラッグ&ドロップ操作	54
視線入力の ON/OFF	55
画面操作とカーソル移動	56
その他の機能	58
【視線入力の設定	59
視線のマウス追従速度(反応速度)	62
マウスクリックまでの時間(注視時間)	62
マウスカーソルの周りの円の大きさ(視線カーソル)と表示の有無(視線カーソルの表示))
	63
マウスカーソルのボタン吸着	64
マウスカーソルの周りの円の色(視線カーソルの色)	66
マウスカーソル付近の拡大表示(拡大鏡表示)	66
Windows 操作(視線入力)メニューの設定	67
ガイダンス機能について	69
■こんな時には	69
メッセージが表示されて「伝の心」が起動しない	69
キャリブレーションを行ったら、動作不能になった	71
なんでもスイッチのみで「伝の心」の操作がしたい	72
■まばたきスイッチについて	73
まばたきスイッチの設定	73
まばたき時間の設定	74
┃サポート	75

視線入力オプションのセットアップ

■はじめて使う時の準備

伝の心を停止します

- (1)「伝の心」のメインメニューを表示します。
- (2) キーボード左側にある「Ctrl」キーを押したまま、「伝の心」トップ画面の右上×ボタンをマウスでクリックしてください。



システムを停止します。 よろしいですか? *=:_______の電源は切れません。)

いいえ

③クリック

(3) 右記のメッセージが表示されるので、「Ctrl」キーの押下を止め、しいを選択してください。「伝の心」が終了して、デスクトップ画面が表示されます。

コアソフトウェアのインストール

※「伝の心」ではここで説明するコアソフトを使用します。<u>トビーPCEye Mini に付属のソフトウェアはインス</u> トールしないでください。ここでインストールするコアソフトが動作しなくなります。

(1) デスクトップ画面から 【[スタート]⇒ 同[エクスプローラー]の順にマウスでクリックします。 次に[ローカルディスク(C:)]⇒[DENTOOL]⇒[視線入力]の順にダブルクリックしていきます。



 (2) [視線入力]フォルダーの「Tobii_Eye_Tracking_Core・・・」を マウスでダブルクリックします。



(3) ネットワークに繋がっていないと、下記のような画面が表示される事があります。その場合は、実行ボ タンをクリックしてください。



(4) 下記画面が表示されるので、ライセンス契約を確認し、「承諾」にチェック**√**を入れて次へボタンをクリックします。



(5) 下記画面が表示されインストールが開始されますので、しばらく待ちます。



(6) 下記「インストール成功!」画面が表示されたら、インストール完了です。続けるボタンをクリックします。



(7) 下記画面が表示されるので、9 ページの「トビーPCEye Miniの設置を行います」に進みます。



トビーPCEye Miniの設置を行います

(1) トビーPCEye Mini 本体を「伝の心」のUSBポートに取り付けます。 ※本体貼り付け用の金具は、まだ取り付けないでください。



(2) トビーPCEye Mini 本体を「伝の心」のUSBポートに取り付けると、下記画面の表示が変化します。 開始するボタンをクリックしてください。



(3)「伝の心」画面全体にディスプレイ設定画面が表示されるので、まず金具を「伝の心」モニター枠下 部に貼り付けます。

※金具はトビーPCEye Miniのパッケージに同梱されています。



(4) 金具は「伝の心」モニター枠下部の中央辺りに貼り付けます。



(5) 金具を貼り付けたら、トビーPCEye Mini 本体を設置します。 (本体の裏は磁石が付いていますので、トビーPCEye Mini 本体を置くだけで張り付きます。)



表示のガイドの破線矢印にマウスカーソルを合わせて、トビーPCEye Mini 本体の両端に位置に破線 矢印が合うように調整しましょう。

	破線矢印は、マウスドラッグで 左右に動かします。	
· '		
tobi		
「伝の心」モニター枠下)「トヒ	 PCEye Mini 本体	

(6) 引き続いて、12 ページの「トビーPCEye Miniと使用者の位置を調整します」に進みます。 ※ディスプレイ設定画面はまだ閉じないでください。 (1)「伝の心」のモニターと使用者の目との距離は、使用者の目の位置から平行に、45~85 cm の範囲 で調整してください。(50cmを推奨します)

※モニターの真ん中を少し見下ろす程度の位置で距離を調整すると、目の疲れが軽減されます。



(2) 顔が「伝の心」のモニターに対して斜めに傾いている場合、モニターや頭の位置を調整してください。



※「伝の心」に外部モニターを接続して、外部モニター側にトビーPCEye Mini 本体を設置して使用

することはできません。



※トビーPCEye Mini はパルス赤外光を使用します。直射日光や強い照明の元では正常に動作 しない場合があります。その場合は、日光や照明が直接トビーPCEye Mini に照射しないように 設定位置を調整ください。



※使用者のメガネに関して、ブルーライトカット仕様のものは、使用者の目を認識しない場合が あります。ご注意ください。また、サングラスに関しても同様ですので、ご注意ください。



(3) 調整が終了したら、「伝の心」のモニターに表示中のディスプレイ設定画面の終了ボタンをクリックします。



※この画面は、下記のようにタスクトレイから再表示することが可能です。

	Tobi Eye Tracking でお行みのゲームをフレイして 新聞堂の定入感を体験しましょう。
	(*) ブームとアプリ
	© (19595a)
E (271J.v/7	
・ ①クリック ③「ディン	スプレイ設定」クリック
(13:28 9⊻ */ ↓× 13:28 2018/08/23	Plant Chesteries (Brant)

(4) 引き続いてキャリブレーション(微調整)が始まりますので、15 ページの「トビーPCEye Mini の設定を行います(ユーザープロフィールの作成)」に進んでください。

トビーPCEye Miniの設定を行います(ユーザープロフィールの作成)

(1) 下記画面が表示されます。

todii eyetracking		×
	あなたの目です	

※上記画面が表示されない場合は、下記のようにタスクトレイから再表示することが可能です。

・ インタラクション	Tobi Eye Teoring でお対応のゲームをプレイして 研修常の広え話を体験しましょう。 開始する
] ディスプレイ設定	(素) ゲームとアプリ
② クリック	© 19999990 П 19791982
	ユーザープロフィール設定」クリック

(2) 自動的に下記画面に切り替わります。

tobii eyetracking		×
	ここにあなたの目が	
	A.V.C.116.9	
	どれだけ動けるかを確認しましょう。	

(3) 画面に目の「〇」表示がない場合、12 ページの「トビーPCEye Mini と使用者の位置を調整します」 を参考に、「伝の心」のモニターと使用者の位置を調整してください。



(4) 使用者の目が認識されると、下記画面に自動的に切り替わります。



- (5) 画面の中心に青い●が表示されるので、青い●を見つめます。
 - ※首や体を動かさず、視線だけを青い〜に向けます。視線を向けるのに困難を感じるようでしたら、 12 ページの「トビーPCEye Miniと使用者の位置を調整します」を参考に、「伝の心」のモニターと 使用者の位置を調整してください。



青い●を見つめて暫くすると、上記画面のように青い●が爆発します。

(6) 青い●が爆発した後は、下記画面に切り替わるので、同様にして青い●を見つめます。
 ※3 点ある青い●は、どれから先に見つめてもよいです。
 青い●が1つ爆発したら、次の青い●を見つめます。



青い●3 点が全て爆発し終わったら、青い●3 点の表示位置の違う上記画面に切り替わるので、 前画面と同様に1つずつ見つめて爆発させていきます。 (7) 全部の青い を爆発させると、下記画面が表示されるので、保存ボタンをクリックします。 ※ユーザープロフィール名が「DENUSER」で保存されます。



(8) 下記画面に切り替わるので、キーボードより[Esc]キーを押下すると設定が終了します。 ※[Esc]キーを押下しないと、自動的にゲームが始まりますが、[Esc]キーを押下すると終了します。



(9) 引き続いて伝の心側の設定を行いますので、20 ページの「伝の心で使用できるようにします」に進ん でください。

〇視線サービスの設定

(1) デスクトップ画面から 【[スタート] ⇒ □[エクスプローラー]の順にマウスでクリックします。 次に[ローカルディスク(C:)] ⇒ [DENTOOL] ⇒ [視線入力]の順にダブルクリックしていきます。



(3) 下記画面が表示されますので、「ChangeServiceConfig SUCCESS」の表示を確認して、キーボード から「Enter」キーを押下して下記画面を閉じます。

C:¥WINDOWS¥System32¥cmd.exe	
C: Yoursense se config "To ii Service" start=delayed-auto [\$1] ChangeServiceConfig SUCCESS	
C:¥WINDOWS¥system32>pause 続行するには何かキーを押してください	

(1) 次に、[視線入力]フォルダーより、[視線入力デバイス切替]⇒[PCEyeminiSet]の順に ダブルクリックします。



(2) [PCEyeminiSet]フォルダーの「EminiSet」をマウスで右クリックして 表示されたメニューから「管理者として実行」をマウスでクリックします。



(3) 下記画面が表示されますので、「PCEye mini」の表示を確認して、キーボードから「Enter」キーを押下してください。



(4) 視線デバイスの設定が「PCEyemini」に切り替わり、下記画面が表示されます。 「PCEyemini」の表示を確認して、キーボードから「Enter」キーを押下して下記画面を閉じます。



- (1)最後に、視線入力メニューへの切り替えを行います。 前項の「〇視線サービスの設定」を実行していない場合は先に前項を実施ください。 実施済みの場合は、(2)項に進んでください。
- (2) [視線入力]フォルダーより、[視線入力切り替えツール]⇒[GazeInputSelect.] の順に ダブルクリックします。



(3) 下記のような画面が表示されますので、視線でマウスを動かし、視線でクリック(決定)する場合は視線入力有効(なんでもスイッチを併用しない)ボタンを、視線でマウスを動かし、スイッチ入力でクリック (決定)する場合は視線入力有効(なんでもスイッチを併用する)ボタンをクリックしてください。

伝の心 視線入力メニュー切り替えツール	
現在: 視線入力無効	伝の心 ×
選択してください。	視線入力有効(なんでもスイッチを併用しない)に切り替えました。
視線入力無効	
◆ 視線入力有効(なんでもスイッチを併用しない)	(2)7197
視線入力有効(なんでもスイッチを併用する)	伝の心 ×
まばたきスイッチ(なっしちスイッチを併用しない) ① クリック まばたきスイッチ(みつじちスイッチを併用する)	 (2)クリック
	終了

※なんでもスイッチを併用する場合は、2 点スイッチモードでは「送りスイッチ」に指定しているポートが 動作しません。視線入力を有効にする前に、「支援者用設定」で1 点スイッチモードに変更するか、 「送りスイッチ」に指定しているポートを使用しないようにしてください。

※なんでもワイヤレスを使用している場合は、なんでもスイッチを併用設定にすると、スイッチの設定が なんでもスイッチに戻ります。お手数ですが再度なんでもワイヤレスを使用する設定に変更ください。

(4) これで準備は完了です。

デスクトップの「伝の心」ショートカットから「伝の心」を起動させてください。

(5) 次回からは電源を入れるだけで視線入力オプションが使用できます。

視線入力有効時の「伝の心」の起動

- (1)「伝の心」の取り扱い説明書を参照して、システム装置の電源ボタンを押します。
- (2) システム装置が起動し、位置補正画面が表示されます。 ここで、12 ページの「トビーPCEye Miniと使用者の位置を調整します」で調整した位置補正の確認 や微調整を行えます。
- (3) 画面中央の3つの〇の内、右端と左端の丸が画面中央の白い四角の中に入るように、システム装置モニターの位置を調整します。 左下の人型のアイコンが、体の傾きを表示していますので、人型のアイコンが右や左に傾いていれば、システム装置モニターの傾きを調整して、左右に傾いていないようにします。



(4) 画面中央の3つの〇の内真ん中の〇は、システム装置モニターとの距離を表示しています。システム 装置モニターとの距離が近ければ上の方に、遠ければ下の方に表示されます。



画面中央に〇が表示されるように、モニターと使用者の目との距離を調整します。 推奨距離(初期

値:50cm)になっていればカウントダウンが始まり、自動的にキャリブレーション画面に遷移します。 (5) この調整を省略して、右上の閉じるボタンを注視して次の画面に遷移することも可能です。



(6) 位置補正画面閉じると、キャリブレーション画面が表示されます。



(7) 画面の8個の〇を順番に見ます。青い●が〇の中に入っているようでしたら(8個全て確認します)、 右端の閉じるボタンを注視してキャリブレーション画面を閉じます。



※視線入力オプションの設定によっては、青い●の上にもう1つ●(色も様々)が表示されます。

- (8) 青い●が〇の外にはみ出している場合は、右下のキャリブレーション更新ボタンを注視(クリック)します。キャリブレーション更新手順は、15ページの「トビーPCEye Mini の設定を行います(ユーザープロフィールの作成)」の(1)~(6)の手順と同様です。
- (9) キャリブレーションが終了すると、上記の画面に戻ってくるので、(6)~(7)場合によっては(8)を再び行います。
- (10) (7)で閉じるボタンを注視(クリック)してキャリブレーション画面を閉じた場合は、伝の心のメインメ ニューが起動します。



※なんでもスイッチ併用時、注視でもクリックさせたい場合は、62 ページの「マウスクリックまでの時間(注 視時間)」を参照して設定を行ってください。 (1) 伝の心のメインメニューの[終了]を注視するとサブメニューが表示されるので、[終了(電源断)]をしま す。



- (2) 確認メッセージが表示されるので、[はい]を 注視すると「伝の心」が終了して、システム 装置の電源が切れます。
- ※なんでもスイッチ併用時、注視でもクリックさせたい場合は、62ページの「マウスクリックまでの時間(注視時間)」を参照して設定を行ってください。

	②[終了(f 注視 終了(戻る	^{電源断)]} 【 電源断)	
#7#認 : (シン	システムを よろし ステムの電	終了します。 いですか? 源が切れます。	,)
	(try	いいえ	

■tobii アイトラッキングツールについて

視線入力を使用するために、コアソフトウェアをインストールすると、デスクトップ画面右下のタスクトレイに 「tobii アイトラッキング」が自動的に表示されるようになります。このツールを使用することで、6ページの 「■はじめて使う時の準備」で説明した「ユーザープロフィール」の設定や「ディスプレイ設定画面」での位 置調整が再度行えます。

tobii アイトラッキングツールの起動と終了

(1) デスクトップ画面右下のタスクトレイから tobii アイコンをマウスでクリックします。



(2) tobii アイトラッキングツールのメニューが表示されます。このメニューは、メニュー以外の場所をクリックす れば閉じます。



(1) tobii アイトラッキングツールのメニューの「インタラクション」をクリックすると、下記画面が表示されます。 左ペインのメニューには「電源」「タッチパッド」「マウス」「Windows」「説明」があります。

tobileyetracking		×
電源	あなたが画面の前にいる間、デバイスはアクティブな状態となりライトアップされますが、いない 間は画面は呻くなります。電力をセーブする自然な方法です。	
タッチパッド		
767	テンロビンドロ くりつ こうしん 一面面が暗くなります。	
*2A	暗くなるまでの時間(15秒)	
Windows		
-0.00	スリープモードに入らない 💿 🕫	
at.91	前にいる間、PCはスリープモードに入ることはありません。	
	画面をオンにする	
	近付くと画面がオンになります。	
	! Tobii Eye Trackingは利用不可	

(2) 伝の心を使用する上で、特に設定するものはありませんが、電源メニューで[明るさを暗くする]がオン になっている場合、トビーPCEye Mini がユーザーを認識しなくなった場合画面が暗くなります。 気になるようでしたら、マウスクリックしてオフにしてください。

明るさを暗くする	(🗩 🔊
正面にいないときは、画面が暗くなります。	
暗くなるまでの時間(15秒) 	マウスクリックして 「オフ」にする
田フナナロノナフ	
9月るさを喧くする 正面にいないときは、画面が暗くなります。	

※ご使用の伝の心によっては、電源の設定ができないものもありますが、その場合はそのままご使用 になっても画面は暗くなりませんので設定不要です。

	① この設定は現在有効なWindows電源プランでは使用できません。
--	------------------------------------

(3) また、「伝の心」の視線入力操作と同時に行うと予期せぬ動作をする場合がありますので、下記タッ チパッドの設定をすべて「オフ」にすることをお勧めします。

tobiieyetracking		×
電源	タッチパッドを使えば、簡単楽々に、またターゲットに対して正確に、クリック、スクロール、ズーム を行うことができます。マウスポインターを画面中ドラッグさせる必要はありません。	
	視線でタッチ	
マウス ① クリック	何かに目を向け、そっと視線を固定したまま、タッチパッドの上に指を1本置きます。目を向けた 方向にマウスポインターが現れます。タッチパッドの上で指を動かすことにより高い度でポイン ターを動かすことができます。クリックは通常どおりに行なってください。	
Windows	視線でスクロール の お	
説明	画面を見るだけで、スクロールしたい領域を決定することができます。そうしたら いつものように 2 本指でタッチパッドをドラッグしてスクロールしましょう。	
	視線でズーム	
	画面で拡大できるエリアに目を向け、タッチパッド上で拡大のジェスチャーをして見て、 を拡大してください。 ②全部オフ	

ディスプレイ設定

(1) tobii アイトラッキングツールのメニューの「ディスプレイ設定」をクリックすると、下記画面が表示されます。 トビーPCEye Mini を取り外して再度取り付けする場合などで、画面の位置調整をする際にご利用 ください。

	×
acker横に線を動かしてください。	
\bullet	
	ocker横に線を動かしてください。

(2) 終了ボタンまたは右上×のクリックで画面は閉じます。

ユーザープロフィール設定(キャリブレーション)

(1) tobii アイトラッキングツールのメニューの一番下には、15 ページの「トビーPCEye Mini の設定を行います(ユーザープロフィールの作成)」で作成したユーザープロフィール名と使用者の目が表示されています。

その部分をマウスでクリックすると、ユーザープロフィール設定メニューが表示されます。



(2) 再設定を行うユーザープロフィール名をクリックします。
 現在使用しているユーザープロフィールの設定を行いたい場合は、ユーザープロフィール名の左端に青い●が表示されているユーザープロフィール名をクリックします。

新しくユーザープロフィールを作成したい場合は、「新規プロフィール作成...」をクリックします。



(3) キャリブレーション画面が表示されます。

tobii eyetracking		
DEMISTR		
(\cdot)	(\cdot)	
~	\sim	あなたの目が見て
(\cdot, \cdot)		「る位直 ("す
		認識されている
		ちなたの目です
\sim	V 1111110	
 (6) 丙目を計測 (7) 左目を計測 	○ 右回を計測	1+071-022/88

(4) 左下に計測のオプションが表示されています。 初期設定は[両目を計測]ですが、両目で見ているのに片目しか認識されないときがある場合は、 [左目を計測]又は[右目を計測]をクリックして選んでください。

● 両目を計測 ○ 左目を計測 ○ 右目を計測

(5) 画面の 8 個の〇を順番に見ます。青い●が〇の中に入っているようでしたら(8 個全て確認します)、 右上の×をクリックしてキャリブレーション画面を閉じます。



※視線入力オプションの設定によっては、青い●の上にもう1つ●(色も様々)が表示されます。

(6) 青い●が〇の外にはみ出している場合は、右下のキャリブレーション更新ボタンをクリックします。キャリ ブレーション更新手順は、15 ページの「トビーPCEye Mini の設定を行います(ユーザープロフィールの 作成)」の(1)~(6)の手順と同様です。

新規にプロフィールを作成した場合は、19ページの(7)の手順も含まれます。

- ※キャリブレーションの更新は、CPU 負荷が非常に高くなるため、OS の状態によっては視線制御ソフトが 停止してしまうことがあります。停止すると操作不能になってしまいますので、キャリブレーションの更新を 行う場合は、必ず支援者の方と一緒に行ってください。 視線制御ソフトが停止した場合は、71 ページの「キャリブレーションを行ったら、動作不能になった」を 参照ください。
- (7) キャリブレーションが終了すると、前述のキャリブレーション画面に戻ってくるので、(5)、場合によっては (6)を再び行います。

視線入力オプションを使う(基本編)

■マウスカーソルとクリック(決定)動作

視線で動かすカーソル移動

視線を向けた位置にマウスカーソルが動き ます。

マウスカーソルの周りには色付きの円が表 示されます。

視線の自然な揺れを吸収するために、この 円の中から視線が外れた時にマウスカーソ ルが視線に追随して動くようになります。

※円の大きさや色は設定で変更可能で す。また、円を非表示にすることも可能 です。

詳細は 63 ページの「マウスカーソルの周 りの円の大きさ(視線カーソル)と表示の 有無」を参照ください。



クリック(決定)するには

マウスカーソルが同じエリアに一定時間留まっていると、マウスカーソルの周りの色付きの円が時計回りに 消えていき、円が消えた時にクリック動作が行われます。



※伝の心の「Windows 操作」以外では、マウスクリックは全て左クリックとなります。 「Windows 操作」については 50 ページの「■Windows 操作(視線入力有効時)」をご覧ください。

※なんでもスイッチを併用する場合

スイッチ入力でマウスクリック動作が行われますので、マウスカーソルの周りの色付きの円が消える前にク リック動作を行うことができます。

色付きの円が消え始めていなくても同様です。

初期設定は注視無効となっていますので、色付きの円は消えません。

注視でもクリックさせたい場合は、62 ページの「マウスクリックまでの時間」を参照して設定を変更してく ださい。

※クリック動作が行われるまでの時間は変更可能です。詳細は 62 ページの「マウスクリックまでの時間」 を参照ください。

■視線入力の一時停止・再開

伝の心のガイダンス行の注視で一時停止・再開が可能です

〇一時停止

ガイダンス行を一定時間注視すると、伝アイコンがなアイコンに変化して、視線入力を一時停止します。



※なんでもスイッチを併用の場合でも、一時停止はスイッチ入力では開始しません。ガイダンス行を一定 時間注視してください。 休止解除表示になっているタイトル行を一定時間注視すると、ガイダンス行の<mark>休</mark>アイコンが<mark>伝</mark>アイコ ンに変化して、視線入力が再開します。



※なんでもスイッチを併用の場合でも、一時停止はスイッチ入力では解除できません。タイトル行を一定 時間注視してください。
ガイダンス行が無い Windows 操作では[ON/OFF]ボタンがあります

[ON/OFF]ボタンを一定時間注視することで、 視線入力を一時停止/再開と切り替えられま す。

※「Windows 操作」については 50 ページの「■ Windows 操作(視線入力有効時)」をご覧 ください。



■視線入力が上手く行かないときは

視線がずれていると感じた時にはキャリブレーション

視線入力を行っている途中で、見ているところに上手くマウスカーソルが動かないと感じた場合は、キャリブ レーションを行って、視線とマウスカーソルを合わせると改善するかもしれません。

「伝の心」起動時にはキャリブレーション画面が表示されますが、その時キャリブレーションを行わなくても、 下記の手順でキャリブレーション画面を表示することが可能です。

(1)伝の心のメインメニューから[応用操作]→[キャリブレーション]を選択します。



(2)「伝の心」起動時に表示された位置補正画面が表示されます。



(3)ここでは、体の傾き、上下左右の位置、距離の確認ができます。

体が左右に傾いていたり、目の位置が画面中央よりずれていたりした場合は、次に表示されるキャリ ブレーション画面でのキャリブレーションが正しく行われないことがありますので、ここで調整します。 調整の手順は、23 ページの「視線入力有効時の「伝の心」の起動」の(3)~(5)の手順と同様です。

位置補正を終了する場合は、右上の閉じるボタンを注視します。

(4)位置補正画面が閉じて、キャリブレーション画面が表示されます。



(5) 画面の 8 個の〇を順番に見ます。青い●が〇の中に入っているようでしたら(8 個全て確認します)、 右端の閉じるボタンを注視してキャリブレーション画面を閉じます。

この場合、上手くマウスカーソルが動かないと感じた原因は、視線とマウスカーソルのずれではありません。40 ページの「マウスカーソルの動きがぎこちない・動きすぎると感じた時には」を参照してマウスカー ソルの動きを調整してみてください。



(6)片目だけで見ている方、または左右どちらかの目で見た方が、上手くマウスカーソルを動かせる方は、 左下の[左目を計測]または[右目を計測]を注視して選択してください。



※[左目を計測]または[右目を計測]を選択した場合、片目を閉じる必要はありません。

(7) 青い●が〇の外にはみ出している場合、(4)で計測方法を変更した場合は、右下のキャリブレーション更新ボタンを注視(クリック)します。



- (8)キャリブレーション更新手順は、15 ページの「トビーPCEye Mini の設定を行います(ユーザープロフィ ールの作成)」の(1)~(6)の手順と同様です。
- (9)キャリブレーションが終了すると、(4)の画面に戻ってくるので、(5)、場合によっては(6)、(7)を再び行います。
- (10) (5)で右端の閉じるボタンを注視(クリック)してキャリブレーション画面を閉じた場合は、伝の心の メインメニューに戻ります。

マウスカーソルの動きがぎこちない・動きすぎると感じた時には

人間の目には、生理的眼振(正常な眼振)があり、常に一点を集中して見ているものではありません。 伝の心の視線入力ソフトウェアはこの生理的眼振を考慮して、マウス追従の無効範囲を設けております。 また、視線を向けた位置に、マウスカーソルが移動を始める早さも若干時間を設けております。 このマウス追従の無効範囲やマウスカーソルが移動を始める早さを調整することによって、各使用者に合 わせた設定が可能です。

視線入力の設定の詳細は、59 ページの「■視線入力の設定」を参照ください。

○マウスカーソルの動きがぎこちない

マウス追従の無効範囲を小さくすると、視線の動きが小さくてもマウスが動き始めます。 63 ページの「マウスカーソルの周りの円の大きさ(視線カーソル)と表示の有無(視線カーソルの表示)」を 参照して「視線カーソル」の設定を小さくしてみましょう。



また、マウスカーソルが移動を始める早さを早くすると、視線の動きにマウスがすぐ反応するようになります。 62 ページの「視線のマウス追従速度(反応速度)」を参照して「反応速度」の設定を速くしてみましょう。



○マウスが動きすぎる

生理的眼振が大きいかもしれません。マウス追従の無効範囲を大きくすると、生理的眼振でマウスが動き始めることが少なくなります。

63 ページの「マウスカーソルの周りの円の大きさ(視線カーソル)と表示の有無(視線カーソルの表示)」を 参照して「視線カーソル」の設定を大きくしてみましょう。



※あまり大きくすると、細かいマウスの動きができなくなるので、注意しましょう。

また、マウスカーソルが移動を始める早さを遅くすると、視線の動きにマウスがすぐ反応しないようになります。 62 ページの「視線のマウス追従速度(反応速度)」を参照して「反応速度」の設定を遅くしてみましょう。

設定				
視線操作設定1	視線操作	設定2	してこを注視(クリック) し反応速度を遅くする	して 設定1 メニューの設定2
反応速度		2		
(1:速い~6:遅	(*) ?	2		

○マウスカーソルが一瞬で飛んだように動く

マウスカーソルのボタン吸着が影響しているかもしれません。ボタン吸着力を小さくしたり、ボタン吸着を無効にしたりすると、ゆっくりと動くようになります。

64 ページの「マウスカーソルのボタン吸着」を参照して「ボタン吸着」の設定をしてみましょう。



※視線カーソル待機時間とボタン吸着力の設定は、ボタン吸着「有」の場合のみ有効です。

マウスクリックまでには一定の時間同じところを注視していなくてはなりませんが、この注視時間は設定によって変更可能です。

62 ページの「マウスクリックまでの時間(注視時間)」参照して「注視時間」の設定を変更してみましょう。



視線カーソルを表示する設定(出荷時の設定)にしている場合は、注視時間の 1/2 の時間が経過する と、視線カーソルの円が時計回りに消失を始め、完全に消失したところでクリックが実行されます。



視線入力オプションを使う(詳細編)

■通常版「伝の心」との違い

電源 ON 時の起動画面について

システム装置の電源ボタンで起動時、 右記の画面が表示されます。

視線制御ソフトの起動を待機しています。 しばらくお待ちください。

50刷

操作が連続して行われる機能の制限について

[↑]、[↓]、[*]、[*]などの、スイッチ入力する まで連続で動作するボタンに関して、<u>連続</u> 動作は行いません。1回のみ動作します。

右の図は、連続動作しない項目の一例です。



メニューの読上げやスキャン音について

読上設定において、「読上げを行う」また は「読上げを行わない(スキャン音あり)」に 設定してあっても、「読上げを行わない(ス キャン音なし)」の設定で動作します。

メニューの読上げは行われず、スキャン音は鳴りません。

ただし、伝の心設定画面での表記は、視線入力無効時の表記から変わりません。

		L	ーザー設定	(読上設定)
優先	読上げ: 読上げを行わない (スキャン音あり) 優先の選択: 読上げ優先		わない あり)	焼上げを行う 派上げを行わない(スキャン育あり) 続上げを行わない(スキャン育なし)
声 読上 声	。 ピンク の 「読.	に設定さ 上げを行う	れていて [:] わない(フ	も 、キャン音なし)」の設定になる
読上	げ音量:	普通		
*	¥	呼音	戻る	

※「伝の心」Ver.06-30 より、「読上げを行う」の設定の場合、文字盤で文字を選択した際に、選択した 文字を読み上げて編集領域に入力します。

文字

文字盤の拡大表示について

基本設定において、文字盤拡大表示を 「拡大する」に設定してあっても、文字盤 の選択文字の拡大は行われません。

拡大表示の替わりにマウスカーソル付近を 拡大する設定が可能です。

詳細は、66 ページの「マウスカーソル付近 の拡大表示(拡大鏡表示)」を参照くださ い。

		L	ーザー設定	(基本設定)
文字の大きさ:32 ポイント			拡大する	
			サンブ	ル 見本
スキャン連	度:1.00 #	9		どれに設定されていても
		C	0 0	「拡大しない」の設定になる
文字盤の:	大きき:文中	字盤(大)		
文字聲拡	大表示:抵	は大しない		
*	*	呼音	戻る	

視線入力切替設定の追加

伝の心ユーザー設定画面に[入力]ボタン が追加されます。 この画面から視線入力とスイッチ入力の 切り替えが可能です。 一度視線入力を有効にすると表示される ようになります。

- (1) [入力]を注視(選択)すると、入力設 定画面が表示されます。
- (2)入力設定画面で[入力デバイス]を 注視(選択)すると、入力設定選択 画面が表示されます。
- (3) 選択メニューの[↑]または[↓]を注視
 (選択)して、設定値を変更します。
- (4) [接続確認]を注視(選択)すると、 選択したデバイス(スイッチや視線出 式入力装置)の接続確認が可能で す。

「接続を確認できません」と表示がさ れた場合は、デバイスの接続を確認し てください。

(5) [戻る]を注視(選択)すると、選択した デバイス(スイッチや視線出式入力装 置)の接続確認を行ってから入力設 定画面に戻ります。 接続が確認できなかった場合は、入 力設定の変更はできません。(現在の 設定に戻ります。)





読上げ画面の操作

[●)]の選択で編集域の読上げが開始 しますが、未確定文字列の読上げなど 読上げ画面を表示しない読上げの場 合、途中で読み上げを止める事ができ ません。

確定文字列の場合、読上げ画面を表 示しますが、<u>読み上げを途中で一時停</u> 止する場合は、読上げ画面のメニュー 部分を注視します。 明るくて、元気がいいね。 会えて良かったです。 また、お会いしましょう。 メニューを注視すると 読上げを一時停止する * * * * 操返 再開 戻る

読み上げが停止した後は、メニューを注 視することで視線入力無効時と同様の

操作が可能です。ただし、[↑]、[↓]、[*]に関しては、44 ページの「操作が連続して行われる機能の 制限について」に記載の通り、連続動作は行いません。

定型句入力画面の操作

視線入力無効時とはサブメニューの表記 も、操作方法も異なります。

定型句リストは<u>自動でスクロールしませ</u> <u>ん。</u>

定型句リストを注視して表示されるサブメ ニューから、[次頁]、[前頁]を注視(選 択)することによって、画面内に表示され ている項目数の数だけ、上や下に1回ス クロールします。

もう一度スクロールさせるには、再度[次 頁]、[前頁]を注視(選択)します。

日時入力画面の操作

上の「定型句入力画面の操作」と同様 に、視線入力無効時とはサブメニューの 表記も、操作方法も異なります。

日時リストは自動でスクロールしません。 日時リストを注視して表示されるサブメニ ューから、[次頁]、[前頁]を注視(選 択)することによって、</u>画面内に表示され ている項目数の数だけ、上や下に1回ス クロールします。

もう一度スクロールさせるには、再度[次 頁]、[前頁]を注視(選択)します。





文書印刷画面の操作

視線入力無効時とはメニューや操作方 法が異なります。

[変更]ボタンで変更していた、「印刷スタ イル」「印刷部数」「印刷開始ページ」 「印刷終了ページ」<u>が、[印刷スタイ</u> ル][印刷部数][開始ページ][終了ペー ジ]の4つのメニュー<u>に分かれます。</u>

- (6) 分割された 4 つのメニューのいずれか を注視(選択)すると、選択された項 目の設定値が反転表示され、メニュ ーが選択メニューに切り替わります。
- (7) 選択メニューの[↑]または[↓]を注 視(選択)して、設定値を変更しま す。
- (8) [戻る]を注視(選択)して、印刷メニ ューに戻ります。
- (9) (1)~(3)を繰り返して、4 つの項目を 設定します。

その他の項目については、視線入力無効時の動作と変わりませんが、視線入

カ無効時、連続動作していた項目(見本画面の移動メニュー)については、44 ページの「操作が連続し て行われる機能の制限について」に記載の通り、連続動作は行いません。

支援者用設定画面について

伝の心ユーザー設定画面から支援者用 設定画面に入る方法が異なります。

支援者用設定ボタンをマウスでクリックして も、支援者用設定画面は表示されませ ん。

支援者用設定画面は支援者用設定ボ タンを[Ctrl]キーを押下しながらマウスでク リックしないと、表示されません。



印刷スタイル							
スタイル1(カ	ラー 44 縦)	31	- 64			
スタイル情報 ブリンター:W Document Wri カラー印刷 用紙:M4	icrosoft XF ter	5					
		「変す	訂が 4	ะกด	ı—)		
印刷邮数: 1	10		ر رر ال		-		
印刷ページ(#	8ページ 5)		·剖	_			
1	- 5			1/			
印刷	印刷	開始	終了	印刷	見本	呼音	戻る
A21/4	mp xx *	>			201		75
							125
		_					
I GRE- Cinterio Etti	STD.	eretanien 2 🖬	目標を表示の時代	ata 8766.00	_		
印刷スタイル スタイル1/カ				- 64			
~~~~~	2	-		- 64			
スタイル情報	iorosoft XP	s:		- 64			
Document Writ	ter						
月初日 月初日 月初日 月初日 月初日 月初日 月初日 月初日 月 月 月 月		ſ	①変更	[対象の	項目が	)	
印刷部数: 3	/	4	反転	表示		J	
印刷ページ/*	- 5)						
2	- 5	- C					
			2[1]	↓]で設	定変更		
1	1	E Z					
	1 8	たつ					
		lh .					10

伝の心メインメニューに表示される[応用 操作]に関して、下記の変更があります。

OWindows 操作

視線入力有効時は、通常版「伝の心」と 違う 視線入力専用のメニューを表示しま す。詳細は、50ページの「■Windows 操 作(視線入力有効時)」を参照ください。 また、支援者用設定において、[Windows 操作]を表示しないように設定してあって も、自動的に表示されるように設定されま す。

※支援者用設定で表示/非表示は選択 可能です。

Oブラウザ操作

<u>表示されません。</u>Windows 操作にてブラウ ザを起動して閲覧ください。

応用操作(視線入力有効時に表示されるメニュー)について

Oキャリブレーション

視線入力有効時は、<u>表示される設定に</u> <u>なります。</u>

応用操作のサブメニューより選択時は、伝 の心起動時に表示されるキャリブレーショ ン画面を表示します。 キャリブレーション画面の詳細は 23 ペー

ジの「視線入力有効時の「伝の心」の起 動」を参照ください。

※支援者用設定で表示/非表示は選択可能です。

#### 〇視線入力練習

視線入力有効時は、<u>表示される設定になります。</u> 応用操作のサブメニューより選択時は、視線入力練習画面を表示します。 文字選択練習の他、じゃんけんゲームなどもあります。視線入力の導入時などにご利用ください。

※支援者用設定で表示/非表示は選択可能です。



	システム・アプリケーション	ン設定		
と定に	メインメニューの設定	呼出音の設定	マウス操作の設定 Windows操作の設	
			-応用操作	
は、伝	☑ 日常使用文	☑ 文書	☑ キャリブレーション	ł
・ソヨ	☑ 会話	☑ リモコン	ン 🛛 視線入力練習	ł
ペー	☑ メール	🗆 LINE	☑ \indows操作	
D起	<b>★</b> <del>+</del> <del>+</del> <del>+</del> <del>+</del> <del>+</del> <del>+</del> <del>+</del> <del>+</del>		(*************************************	

視線入力有効時は、<u>表示される設定になります。</u> 応用操作のサブメニューより選択時は、視線入力の設定画面を表示します。 視線入力の設定画面の詳細は 59 ページの「■視線入力の設定」を参照ください。

※支援者用設定で表示/非表示は選択できません。(設定項目はありません。)

#### 応用操作(メール/LINE) について

OLINE 操作

支援者用設定において、[LINE]をメイン メニューに表示する設定にしていても、非 表示に設定されます。

※[LINE]の項目は変更できない表示とな っています。

また、Windows 操作の<u>視線入力専用のメ</u> <u>ニューには[LINE]の項目がありません</u>。 ただし、Windows 操作にてデスクトップの LINE アイコンから LINE を起動して操作可 能です。



**0メール** 

[メール]は表示・非表示どちらの設定にしていても、[メール]を表示する設定に変更されます。

※支援者用設定で表示/非表示は選択可能です。

伝の心のメインメニューから[応用操作]→[Windows 操作]を選択すると、視線入力メニューが表示された Windows 操作画面が表示されます。視線入力メニューはデスクトップ画面右端に表示されます。



メニュー一覧

入力メニューはデスクトップ画面右端に表示されます。下記にメニューの遷移を含めた一覧を表示します。



### マウスクリックの切り替え(左クリック・右クリックなど)

<b>し</b> 上 た り リック	[左クリック]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、マウ スクリックが左クリックモードに切り替わります。 既に背景色が青色の場合は左クリックモードになっています。 [左クリック]ボタンの無いメニューでは、常に左クリックモードです。
をダブル をダブル	[左ダブル]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、マウ スクリックが左ダブルクリックモードに切り替わります。 既に背景色が青色の場合は左ダブルクリックモードになっています。 左ダブルクリックを一度実行すると、自動で左クリックモードに変わりま す。
R 右りリック 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	[右クリック]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、マウ スクリックが右クリックモードに切り替わります。 既に背景色が青色の場合は右クリックモードになっています。 右クリックを一度実行すると、自動で左クリックモードに変わります。
Ctrl CtrlbJyb	[Ctrl クリック]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、マ ウスクリックが「Ctrl」+左クリックモードに切り替わります。 既に背景色が青色の場合は「Ctrl」+左クリックモードになっています。 「Ctrl」+左クリックを一度実行すると、自動で左クリックモードに変わり ます。
Shift Shiftクリック 注視して、クリック	[Shift クリック]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、 マウスクリックが「Shift」+左クリックモードに切り替わります 既に背景色が青色の場合は「Shift」+左クリックモードになっています。 「Shift」+左クリックを一度実行すると、自動で左クリックモードに変わり ます。

※[Ctrl クリック]ボタンと[Shift クリック]ボタンは、視線入力メニューのトップメニューから、[その他]→[拡張 マウス]を順に注視(選択)して表示された拡張マウスメニューから選択できます。



モードに切り替える

※各マウスクリックの実行については、34 ページの「クリック(決定)するには」を参照ください。

マウスのスクロール

拡張マウスメニューからマウスのスクロールが可能です。

 (1) 視線入力メニューのトップメニューから、[その 他]→[拡張マウス]を順に注視(選択)して 表示された拡張マウスメニューから[上スクロ ール]または[下スクロール]ボタンを注視(選 択)します。

選択されたボタンは背景色が青色に変化します。

(2) スクロール可能なアクティブな画面のスクロー ル可能領域を注視して、マウスカーソルを移 動させます。



- (3) [上スクロール]を選択している場合は上方向 に、[下スクロール]を選択している場合は下方向に、画面がスクロールします。
- (4) スクロールを停止する場合は、もう一度、背景色が青色になっている上スクロール]または[下スクロー ル]ボタンを注視(選択)します。



(5) 注視したボタンの背景色が元の色に戻り、自動的に左クリックモードに変わります。 ([左クリック]ボタンが選択されます) (6) 下の画面は「伝の心取説」を下方向にスクロールしている画面です。



拡張マウスメニューからマウスのドラッグ&ドロップが可能です。

(1) 視線入力メニューのトップメニューから、[その他]→[拡張マウス]を順に注視(選択)して表示された拡張マウスメニューから[ドラッグ]ボタンを注視(選択)します。



選択されたボタンは背景色が青色に変化します。

- (2) ここでは一例として、デスクトップアイコンを、ドラッグ&ドロップで移動してみます。
- (3)まず、移動対象のアイコンを注視して、マウスカーソルをアイコンの上に移動させます。



- (4) マウスカーソルが同じエリアに一定時間留まっていると、マウスカーソルの周りの色付きの円が時計回り に消えていき、円が消えた時にドラッグ動作が行われます。
- (5) ドラッグしたアイコンはマウスカーソルと一緒に移動します。



(6) ドロップしたい場所を注視すると、(4)と同様にマウスカーソルの周りの色付きの円が時計回りに消えて

### いき、円が消えた時にドロップ動作が行われます。



(7) ドロップ動作が終了すると、自動で左クリックモードに変わります。



視線入力の 0N/0FF

[ON/OFF]ボタンを一定時間注視することで、 視線入力を一時停止/再開と切り替えられま す。

[ON/OFF]ボタンは、トップメニュー、その他メニュー、拡張マウスメニューに各々あります。





左

右

閉じる

最小化

最大化

画面操作は、視線入カトップメニューから[画面操作]を注視(選択)して表示された画 面操作メニューから操作します。

[上]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 が上方向に移動をはじめます。

再度[上]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が元の色に戻り、画面の移動が停止します。

#### [下]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 が上方向に移動をはじめます。

再度[下]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が元の色に戻り、画面の移動が停止します。

#### [左]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 が左方向に移動をはじめます。

再度[左]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が元の色に戻り、画面の移動が停止します。

#### [右]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面が右方向に移動をはじめます。

再度[右]ボタンを注視すると、ボタンの背景色が元の色に戻り、画面の移動が停止します。

#### [閉じる]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 が閉じます(終了します)。

※対象となる画面の仕様によっては、閉じない画面もあります。

#### [最小化]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 が最小化します。

#### [最大化]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面が最大化します。

現在アクティブな画面が既に最大化している場合は、通常の画面サイズに戻ります。 ※対象となる画面の仕様によっては、最大化ができない画面もあります。



カーソル移動は、視線入力トップメニューから[その他]を注視(選択)して表示されたその他メニューから[カーソル]を注視(選択)して表示されたカーソルメニューから操作します。





Dn

ページ下

### [ページ上]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 にキーボードの「PageUp」キーを発行します。(キーボードで「PageUp」キーを押下したと きと同様の操作です。)

#### [ページ下]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 にキーボードの「PageDown」キーを発行します。(キーボードで「PageDown」キーを押下 したときと同様の操作です。)

#### [Tab]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 にキーボードの「Tab」キーを発行します。(キーボードで「Tab」キーを押下したときと同様 の操作です。)



Tab

# [Enter]

ボタンを注視すると、ボタンの背景色が青色に変わり、現在アクティブになっている画面 にキーボードの「Enter」キーを発行します。(キーボードで「Enter」キーを押下したときと 同様の操作です。)



視線入力メニューを非表示にして、マウスクリックが左クリックモードに切り替わり、文字盤を起動します。

文字盤の「戻」を選択すると文字盤が終了して視線入力メニューを表示します。 文字盤は、伝の心の文字盤と同じものです。

[呼音]

[盤]

視線入力トップメニューから[その他]を注視(選択)して表示されたその他メニューから選択可能です。

[呼音]ボタンを注視(選択)すると、呼音を再生します。

呼音は伝の心呼音と同じものです。

呼音再生中は下記メッセージ画面を表示します。

メッセージ画面の中止ボタンを注視(選択)すると、メッセージ画面を閉じます。





[設定]

視線入力トップメニューから[その他]を注視(選択)して表示されたその他メニューから選 択可能です。

[設定]ボタンを注視(選択)すると、視線入力メニューを非表示にして、マウスクリックが 左クリックモードに切り替わり、設定画面を起動します。

設定画面の詳細は 59 ページの「■視線入力の設定」を参照ください。



視線入力トップメニューから[その他]→[設定]の順に注視(選択)すると、視線入力の設定画面が表示 されます。このとき、視線入力メニューは非表示、マウスクリックは左クリックモードに切り替わります。



また、伝の心のメインメニューから[応用操作]→[視線設定]からも、視線入力の設定画面を表示するこ とができます。



設定後は、設定画面の終了ボタンを注視(選択)すると、下記画面が表示されるので、 はいボタンを注視(選択)すると設定を更新して終了します。 いいえボタンを注視(選択)すると設定を元に戻して終了します。 終了後は、視線入力のその他メニューに戻ります。 キャンセルボタンを注視(選択)すると、視線入力の設定画面に戻ります。



#### O再読込

再読込ボタンを注視(選択)すると、下記画面が表示されるので、 はいボタンを注視(選択)すると、現在の設定を表示して視線入力の設定画面に戻ります。 いいえボタンを注視(選択)すると、視線入力の設定画面に戻ります。

視線入力		出荷時 設定
変更を破棄し、	現在の設定を再読込します。	再読込
はい	いいえ	終了

出荷時設定ボタンを注視(選択)すると、下記画面が表示されるので、 はいボタンを注視(選択)すると、出荷時の設定を表示して視線入力の設定画面に戻ります。 いいえボタンを注視(選択)すると、視線入力の設定画面に戻ります。



#### 視線のマウス追従速度(反応速度)

視線を向けた位置に、マウスカーソルが移動を始める早さを設定できます。 「視線操作設定 1」のページの「反応速度」で設定します。(出荷時の設定は 4 です。)

+:反応速度を1プラスします。(視線の位置にマウスカーソルが遅れて追従するようになります。) --:反応速度を1マイナスします。(視線の位置へのマウス追従速度が速くなります。)

定					
視線操作設定1	視線操作設定2	視線操作設定3	メニューの設た	定1 メニューの	D設定2
反応速度 (1:速い~6:週	(LV) <b>?</b> 4	_	+		
視線カーソル	? 4	8ピクセル	-	$\left[ + \right]$	
視線カーソル	の表示 ?	有無	¥		
注視時間	1.3秒				

マウスクリックまでの時間(注視時間)

視線を向けた位置を注視してからマウスクリックが行われるまでの時間です。 「視線操作設定 1」のページの「注視時間」で設定します。 0~3.0 秒まで変更可能です。(出荷時の設定は 1.3 秒です。)

+:注視時間を0.1 秒プラス(遅く)します。

ー:注視時間を 0.1 秒マイナス(早く)します。

※0秒に設定すると、注視無効になります。スイッチ併用時の初期設定となります。



<u>※ここでの注視時間は Windows 操作メニュー「メニュー設定 1」のページの「注視時間」で設定するマウ</u> スクリックまでの時間とは異なりますのでご注意ください。 マウスカーソルの周りの円の大きさ(視線カーソル)と表示の有無(視線カーソルの表示)

マウスカーソルの周りに円を表示可能です。(出荷時は表示されています。)

この円の範囲の中で視線を動かしても、マウスカーソルは追随しません。(マウス追従の無効範囲)

「視線操作設定 1」のページの「視線カーソルの表示」で円の表示の有無、「視線カーソル」で円の大きさ (半径)を指定します。

「視線カーソル」は 24~96 ピクセルの範囲で 8 ピクセル毎に変更可能です。(出荷時は 48 ピクセルで す。)

※円の表示の有無の関わらず、「視線カーソル」の設定は有効です。



「視線カーソルの表示」を「有」に設定した場合、マウスクリックが行われる時に、注視時間の半分が過ぎると円の表示が時計回りに消えていき、円が消えた時にクリック動作が行われるので、マウスクリックが視覚的に分かりやすくなります。



マウスクリック後は、円が再表示されます。

「伝の心」のメニューや文字盤の文字を、注視すると、マウスカーソルがメニューや文字盤のボタン中央に 吸着(移動)するように設定することが可能です。別のメニューや別の文字(文字盤の場合)を注視すると、 マウスカーソルは即吸着(移動)します。(出荷時はボタン吸着「有」です。)

また、ボタン吸着「有」の場合、視線カーソル待機時間とボタン吸着力を設定することが可能です。

「視線操作設定 2」のページの「ボタン吸着の有無」と「視線カーソル待機時間有無」「ボタン吸着力」で設定します。

ポタン吸着の有無	?	有	無
視線カーソル待機時間有無 (ボタン吸着有の時のみ有効)	?	有	無
ボタン吸着力 (ボタン吸着有の時のみ有効) (1:即吸着) 0.6	?		+

〇視線カーソル待機時間

<u>視線カーソル待機時間が有の場合</u>は、通常の注視処理と同じで、ボタン吸着後、注視時間の半分が 過ぎると視線カーソル円の表示が時計回りに消えていき、円が消えた時にクリック動作が行われる動作で す。



<u>視線カーソル待機時間が無の場合</u>は、ボタン吸着後、すぐに視線カーソル円の表示が時計回りに消えていきます。注視時間は変わりません。

(出荷時は視線カーソル待機時間「無」です。)



ボタン吸着力はマウスカーソルがメニューや文字盤のボタン中央に吸着(移動)する速度を設定します。

「ボタン吸着力」は 1.0~0.3 の範囲で 0.1 毎に変更可能です。(出荷時は 0.6 です。)

1.0:マウスカーソルがメニューや文字盤のボタンの上に移動したら、ボタン中央に即時吸着します。 0.3:マウスカーソルがメニューや文字盤のボタンの上に移動したら、ボタン中央にゆっくり吸着します。





「視線カーソルの表示」を「有」に設定した場合、円の色を変更することが可能です。(出荷時は「赤」で す。)

「視線操作設定 3」のページの「視線カーソルの色」で設定します。



マウスカーソル付近の拡大表示(拡大鏡表示)

操作対象が小さくて注視しづらい場合は、拡大鏡を表示してマウスカーソル付近を拡大表示させることも 可能です。

「視線操作設定 3」のページの「拡大鏡表示」で設定します。(出荷時は表示されていません。)

设定							
視線操作設定1	視線操作話	2定2 視線	<b>櫐作設定</b> 3	メニューの	設定1	メニューの	)設定2
拡大鏡表示	?	有	無				
視線カーソル(	^{の色} ?	赤	桃	格	× Z	緑	青

「拡大鏡表示」を「有」に設定すると、OS 標準でインストールされている拡大鏡を表示します。下記のようにマウスカーソル付近を拡大表示します。





視線入力メニューの設定も可能です。「メニュー設定 1」「メニュー設定 2」のページで設定します。

定				
見線操作設定1 視線操作設定2 1	視線操作設定	3 メニューの	の設定1 メニ:	ューの設定2
透明度 1.0	- +	-		
ON/OFF注視時間	短	中	長	
マウス操作注視時間	短	中	長	
その他の項目の注視時間	短	中	長	

定				
視線操作設定1	視線操作設定2	視線操作設定3	メニューの設定1	メニューの設定2
Windows操作 メニュー表示(		左 🕇		

### <u>※ここでの注視時間は「視線操作設定 1」のページの「注視時間」で設定するマウスクリックまでの時間と</u> <u>は異なりますのでご注意ください。</u>

〇透明度

視線入力メニューの透明度を設定します。 0.1~1.0まで変更可能です。(出荷時の設定は 1.0(透明度:なし)です。)

+:透明度を 0.1 プラス(透明に)します。

-]:透明度を 0.1 マイナス(不透明に)します。







# 視線入力メニューの[ON/OFF] ボタンを注視して ON/OFF を切り替えるまでの時間を設定します。 ※「視線操作設定 1」のページの「注視時間」で設定するマウスクリックまでの時間とは異なりますのでご





#### 〇マウス操作注視時間

視線入力メニューの[左クリック]、[右クリック]、[ダブルクリック]、[ドラッグ]、[Ctrl+左クリック]、[Shift+左クリ ック]ボタンを注視してマウスクリックモードを切り替えるまでの時間を設定します。

# ※「視線操作設定 1」のページの「注視時間」で設定するマウスクリックまでの時間とは異なりますのでご



#### 〇その他注視時間

視線入力メニューの ON/OFF、マウス操作系ボタン以外のボタンに対して、ボタンを注視してマウスクリック モードを切り替えるまでの時間を設定します。

#### <u>※「視線操作設定 1」のページの「注視時間」で設定するマウスクリックまでの時間とは異なりますのでご</u> 注意ください。



OWindows 操作メニュー表示位置

Windows 操作メニューの表示位置を、右端か左端か選択可能です。(出荷時の設定は「右」です。)

視線入力の設定画面では、各設定項目に対して説明を表示するガイダンス機能があります。 各項目の項目名表記エリアを注視すると、右側に説明画面が表示されます。 下記は「拡大鏡表示」を注視したときの一例です。



説明画面を注視している間は、説明画面は表示されます。視線を説明画面から外して「注意時間」経 過すると、自動的に説明画面は閉じます。

※ここでの「注視時間」は「視線操作設定 1」のページの「注視時間」で設定する時間です。

# ■こんな時には

メッセージが表示されて「伝の心」が起動しない

- 〇メッセージの内容が、「視線入力制御ソフトウェアがイ ンストールされていません。」の場合
  - ⇒視線入力オプションを有効にするためのソフトウェア がインストールされていません。
    - 6 ページの「コアソフトウェアのインストール」を参照 して、ソフトウェアをインストールしてください。
  - ⇒視線デバイスの設定がトビーPCEyemini ではない 可能性があります。
    - 21 ページの「〇視線デバイスの設定」を参照して デバイスの設定を行ってください。
- 〇メッセージの内容が、「視線入力制御ソフトウェアが 停止しています。」の場合
  - ⇒視線入力オプションを有効にするためのソフトウェア が起動していません。

視線入力制御ソフトウェアは、インストールすると、 「伝の心」の起動と同時に起動する設定となってい ますが、何らかの原因で起動が遅れている場合が あります。

OK ボタンをクリックしてメッセージを閉じた後、暫く 待ってからデスクトップ画面の [伝の心]アイコンをダ ブルクリッして、「伝の心」を起動してください。





- ○メッセージの内容が、「視線入力デバイスが接続されていません。」の場合
  - ⇒トビーPCEye Mini が「伝の心」に接続されていません。
    - 9 ページの「トビーPCEye Mini の設置を行います」 や、27 ページの「■tobii アイトラッキングツールにつ いて」を参照して、トビーPCEye Miniの接続を確認 してください。
  - ⇒トビーPCEyemini ではない視線入力オプションが 接続されている可能性があります。 接続機器をご確認ください。
- Oメッセージの内容が、「なんでもスイッチ USB が接続されていません。」または「なんでもワイヤレスが接続されていません。」の場合
  - ⇒視線入力有効で、なんでもスイッチを併用する設定もしくは、視線入力無効の設定になっています。 更にその状態でなんでもスイッチ USB またはなんでもワイヤレスが接続されていません。
    - 視線入力の設定が違う場合は 20 ページの「伝の 心で使用できるようにします」を参照して、「視線入 力有効(なんでもスイッチを併用しない)」設定に切 り替えてください





なんでもスイッチを使用する設定の場合は、なんでもスイッチ USB またはなんでもワイヤレスの接続を 確認してください。

キャリブレーションの更新は、CPU 負荷が非常に高くなる ため、OS の状態によっては視線制御ソフトが停止してし まうことがあります。

○伝の心起動時のキャリブレーション画面からキャリブレー ションの更新を行った場合

- ⇒
  - キャリブレーション画面の右上の×をマウスでクリッ クして、まずキャリブレーション画面を閉じます。
  - ② 6 ページの「コアソフトウェアのインストール」や 20 ページの「伝の心で使用できるようにします」を参 照して「視線入力」フォルダーを開きます。
  - ③「Serviceの再起動」を右クリックして、表示された メニューから「管理者として実行」をクリックします。
  - ④「Tobii Service サービスを停止中です…」メッセ ージが表示されます。
  - ⑤「Tobii Service サービスは正常に開始されまし フセス た」と表示されるまで待ちます。
  - メッセージ画面の右上の×をマウスでクリックして、 メッセージ画面を閉じます。
  - (7) 30 ページの「ユーザープロフィール設定(キャリブ) レーション)」を参照して再度キャリブレーションを 行います。
  - ⑧ キャリブレーションが終了したら、伝の心が起動し ます。

○伝の心のメインメニューから「キャリブレーション」を選択し てキャリブレーションの更新を行った場合

⇒前項の①~⑧と同様の操作を行ってください。

ただし、②を行う際に伝の心のメインメニューが表示さ れていますので、メインメニューの右上 ボタンをクリッ クして、伝の心を最小化してください。

また、⑧でキャリブレーションが終了した際は、②で伝 の心を最小化している場合、タスクバーの伝の心アイ コンをクリックして伝の心画面を表示させてください。







ください

るには何かキ

視線入力オプションでの「伝の心」操作をなんでもスイッチでの操作に戻すことができます。

(1) 20 ページの「伝の心で使用できるようにします」を参照して、下記の画面を表示します。



(2) 視線入力無効ボタンをクリックしてください。なんでもスイッチのみでの操作に切り替わります。
## ■まばたきスイッチについて

視線入力オプションとして、「まばたきスイッチ」を使用することができます。これは視線の注視によって決定 (マウスクリック)する入力方法ではなく、まばたきによる瞳の個数変化によってスイッチ入力するオプション 機能です。視線入力のオプションとの切り替えと同様に切り替えて使用することが可能です。

## まばたきスイッチの設定

- (1) 20 ページの「伝の心で使用できるようにします」を参照して、下記の画面を表示します。
- (2) まばたきのみでスイッチ入力する場合はまばたきスイッチ(なんでもスイッチを併用しない)ボタンを、まば たきとスイッチの両方でスイッチ入力する場合はまばたきスイッチ(なんでもスイッチを併用する) ボタンを クリックしてください。



※なんでもワイヤレスとの併用はできません。

なんでもワイヤレスを使用している場合は、なんでもスイッチを併用設定にすると、スイッチの設定が なんでもスイッチに戻ります。

(3)これで準備は完了です。

デスクトップの「伝の心」ショートカットから「伝の心」を起動させてください。

(4) 次回からは電源を入れるだけで視線入力オプションが使用できます。

## まばたき時間の設定

まばたきする時間を設定可能です。初期値は 0.4 秒になっています。 0.1 ~ 999 秒まで設定可能です。 設定方法は下記になります。

- (1) 6 ページの「伝の心を停止します」を参照して、「伝の心」を停止します。
- (2) デスクトップ画面右下のタスクトレイから まばたきスイッチアイコンをマウスで右クリックします。 メニューが表示されますので、「設定」を選択します。



(3) まばたきスイッチの設定画面が表示されますので、まばたき時間を変更する場合は、値を入力ボタン をクリックします。



(4) まばたき時間が編集可能になるので、0.1 ~ 999 の範囲でまばたき時間を入力します。あまり短い時間を設定すると。生理的なまばたきでもスイッチが入ってしまいますので、ご注意ください。

(5)まばたき時間を入力したら、値を設定ボタンをクリックします。



(6) OK ボタンをクリックして設定画面を閉じ、 デスクトップの「伝の心」ショートカットから「伝の心」を起動させてください。

## ■サポート

トビーPCEye Mini やコアソフトに関するお問い合わせは、以下までご連絡ください。

株式会社クレアクト お問い合わせ窓口

「伝の心」に関するお問い合わせは、「伝の心」をご購入された販売店にご連絡ください。